

て経題を挙ぐるに玄に一部を収む。又云く、「略して界如を挙ぐるに、具に三千を摂す」。文殊師利菩薩・阿難尊者、三会八年の間の仏語、之を挙げて妙法蓮花経と題し、次下に領解して云く、「如是我聞」と云云。問う、其の義を知らざる人、唯南無妙法蓮花経と唱えて、解義の功德を具するや不や。答う、小兒乳を含むに其の味を知らずとも自然に身を益す。耆婆が妙薬誰か弁えて之を服せん。水心無けれども火を消し、火物を焼くも豈覺有らんや。竜樹・天台皆此の意なり。重ねて示すべし。問う、何が故ぞ題目に万法を含むや。答う、章安の云く、「蓋し序王とは経の玄意を叙す。玄意は文心を述す。文心は迹本に過ぎたるは莫し」。妙楽云く、「法花の文心を出して諸教の所以を弁す」云云。濁水心無けれども月を得て自ら清めり。草木雨を得て豈覺有りて花さくならんや。妙法蓮花経の五字は経文に非ず、其の義に非ず、唯一部の意のみ。初心の行者其の心を知らずとも、而も之を行ずるに自然に意に当るなり。問う、汝の弟子、一分の解無くして但一口に南無妙法蓮花経と称うる其の位如何。答う、此の人は但四味三教の極位並に爾前の円人に超過するのみに非ず、将又真言等の諸宗の元祖たる畏・巖・恩・蔵・宣・磨・導等に勝出すること百千万億倍なり。請う、国中の諸人、我が末弟等を軽んずること勿れ。進みて過去を尋ぬれば八十万億劫供養せし大菩薩なり。豈熙連一恒の者に非ずや。退きて未来を論ずれば八十年の布施に超過して五十の功德を備うべし。天子の襦袢に纏われ大竜の始めて生ぜしがごとし。蔑如すること勿れ、蔑如すること勿れ。妙楽云く、「若し悩乱する者は頭七分に破れ、供養すること有らん者は福十号に過ぐ」と。優陀延王は賓豆盧尊者を蔑如して七年の内に身を喪失し、相州は日蓮を流罪して百日の